

ME2000 取扱説明書

このたびは、ヤマハメモリー拡張キット ME2000 をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。この ME2000 を DM2000 の CPU ボードと取り替えることによって、DM2000 のオートミックスの保存容量が 1MB から 7MB に増えます。容量が増えることで、さらに DM2000 を快適にお使いいただけます。



ME2000 の取り付けは、お買い上げの販売店または DM2000 取扱説明書の巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にご依頼ください。決してお客さま自身で行なわないでください。

安全上のご注意

サービスマンが取り付け作業をする前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」と「注意」に区分しています。いずれもお客様の安全や機器の保全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

- ＊ お読みになった後は、DM2000 取扱説明書とあわせて、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

記号表示について



記号は、危険、警告または注意を示します。



記号は、禁止行為を示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。



記号は、行為を強制したり指示したりすることを示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。



警告

この欄に記載されている事項を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。



ME2000の基板部分やコネクタ部に無理な力を加えたり、分解したり改造したりしないでください。
感電や火災、または故障などの原因になります。



ME2000 を取り付ける前に、必ず取り付ける DM2000 本体の電源プラグを抜いてください。
感電の原因になります。



注意

この表示内容を見逃した取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性があります。



作業中は指を挟まないようにご注意ください。



ME2000 を持つとき、基板裏の電子部品の

リード（金属の足）に触らないでください。



ME2000 を持つとき、前もって他の金属に触れるなどして、静電気が起きないようにご注意ください。



ME2000 を取り付けると、DM2000 本体の設定内容がすべて初期化されます。取り付け作業に入る前に、大切なデータを外部 MIDI 機器などに必ずバックアップしておいてください。



DM2000 のデータをバックアップするために、付属のリチウム電池を必ず取り付けてください。

不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

また、データが破損したり、失われたりした場合の補償もいたしかねますので、ご了承ください。

- * 使用済みの電池は、各自治体で決められたルールに従って廃棄しましょう。
- * この取扱説明書に掲載されているイラストは、すべて取り付け作業のためのものです。したがって実際の仕様と異なる場合があります。
- * この取扱説明書に掲載されている会社名、製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。
- * DM2000 本体に付属の Studio Manager インストールガイドにこのソフトウェアのご注意およびご使用条件が記載されています。このソフトウェアをインストールする前に、必ずこのご注意およびご使用条件をお読みください。ディスクの包装を解かれた場合は、このソフトウェアのご使用条件に同意したことになります。
- * 仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

● バージョンアップする場合

システムソフトウェア：

ME2000 には、システムソフトウェア V1.20 以上がすでにインストールされています。バージョンアップする場合は、バージョンアップデータが V1.20 以上であることを確認してください。V1.20 より前のシステムソフトウェアは、ME2000 に対応していません。

Studio Manager:

V1.1.1 より前の Studio Manager は、ME2000 に対応していません。ご使用の Studio Manager が V1.1.1 より前の場合は、付属の CD-ROM から Studio Manager をインストールしてください。インストールについては、DM2000 本体に付属の Studio Manager インストールガイドをご覧ください。ただし、Macintosh の動作環境は以下のようになります。

Macintosh の動作環境

コンピュータ	Macintosh G3/233 MHz 以上、USB 端子搭載
OS	Mac OS 8.6 ~ 9.2.2 (Mac OS X は対応していません)
メモリー	120MB 以上の空きメモリー (仮想メモリーはオフにしてください)
ハードディスク	7MB 以上
ディスプレイ	1024 × 768 ピクセル、256 色以上 1280 × 1024 ピクセル、32000 色推奨
その他	OMS 2.3.3 以上

NOTE: PowerBook をバッテリーでお使いの場合は、「省エネルギー設定」コントロールパネルを開き、「プロセッササイクリング」をオフにしてください。

システムソフトウェアと Studio Manager の最新情報につきましては、以下のヤマハウェブサイトをご覧ください。

ヤマハウェブサイト : <http://proaudio.yamaha.co.jp/>

● データのバックアップ



ME2000 を取り付けると、DM2000 本体の設定内容がすべて初期化されます。取り付け作業に入る前に、大切なデータを外部 MIDI 機器などに必ずバックアップしておいてください。

MIDI バルクダンプを使い、MIDI データファイラーなどの外部 MIDI 機器に DM2000 のデータをセーブします。

NOTE

Studio Manager を使ってコンピューターにセーブしたり、DM2000 のスマートメディアにセーブしたりすることができます。詳しくは、PDF 形式の Studio Manager 取扱説明書または DM2000 取扱説明書をご覧ください。

1. DISPLAY ACCESS [MIDI] キーで BULK DUMP ページを表示します。
2. CATEGORY パラメーターの [ALL] を選択したあと、[TRANSMIT] ボタンを選択してから [ENTER] キーを押します。

● 取り付け手順～以下は、ヤマハ指定のサービスエンジニアへの説明です。～

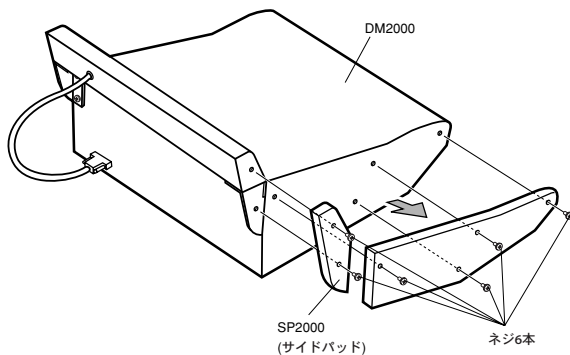


ME2000 の取り付けは、お買い上げの販売店または DM2000 取扱説明書の巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にご依頼ください。決してお客さま自身で行なわないでください。

コントロールパネルの取り外し

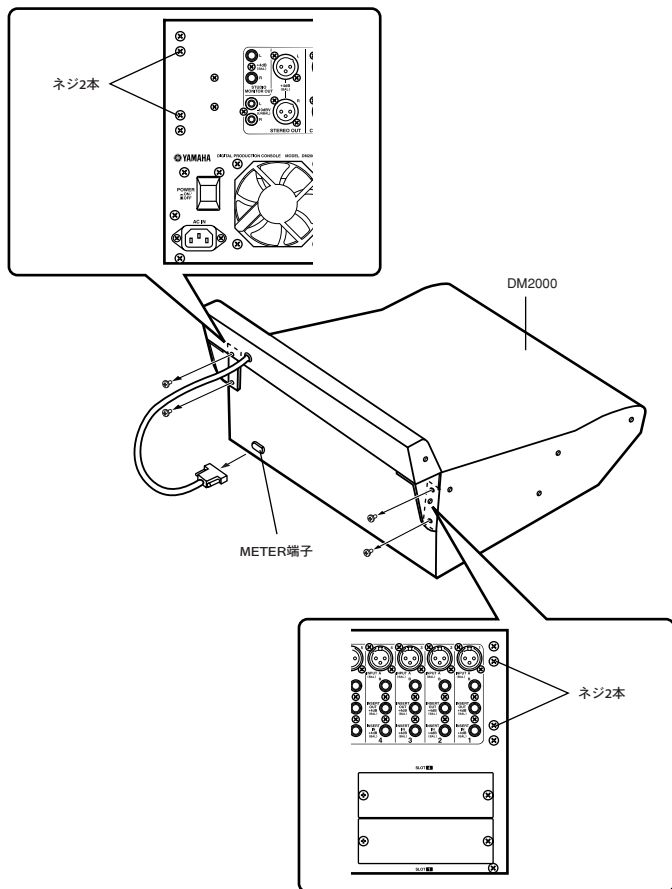
NOTE 取り外すネジの種類は、場所によって異なります。ネジの種類と取り付け場所がわかるように保管してください。

1. DM2000 の電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜きます。
2. サイドパッド SP2000 が取り付けられている場合は、下の図のように左右 6 本ずつ合計 12 本のネジを取り外したあと、SP2000 を左右とも取り外します。
SP2000 については、DM2000 の取扱説明書をご覧ください。



3. ピークメーターブリッジ MB2000 が取り付けられている場合は、DM2000 の METER 端子からピークメーターブリッジのケーブルを外します。次に、下の図のように 4 本のネジを取り外したあと、MB2000 を取り外します。

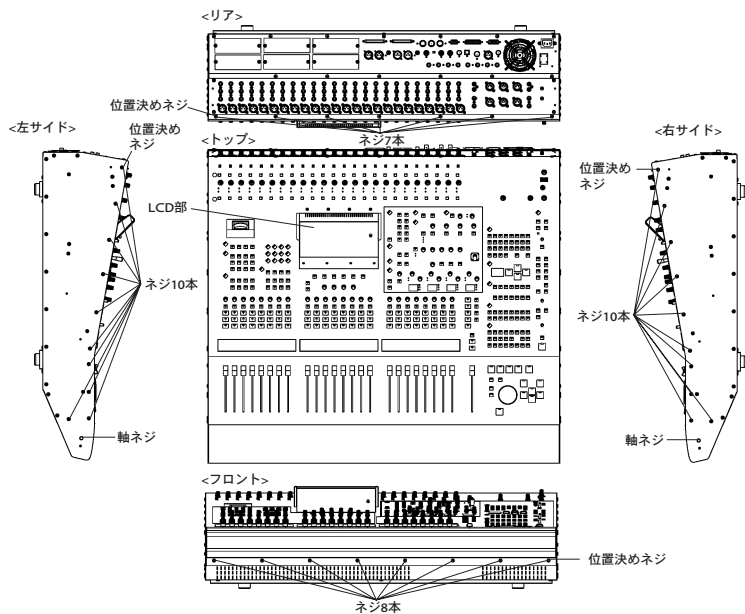
MB2000 については、DM2000 の取扱説明書をご覧ください。



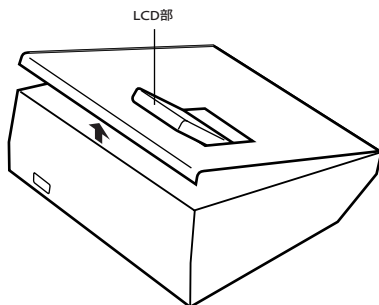
4. 下の図のように、サイド 20 本、フロント 8 本、リア 7 本のネジを外します。
5. 軸ネジを軽くゆるめめます。



軸ネジを絶対に取り外さないでください。
DM2000のコントロールパネルが倒れて、けがや故障の原因になります。

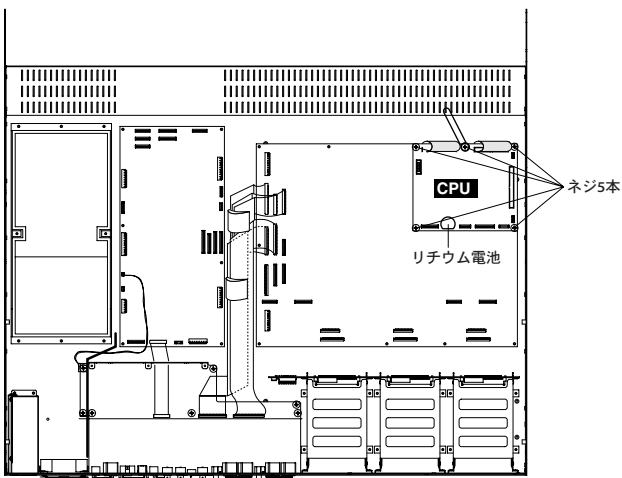


6. LCD 部を持ちながら、コントロールパネルのリア側を持ち上げます。



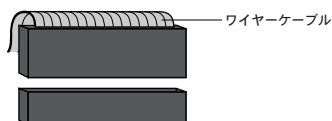
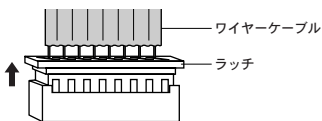
7. コントロールパネルが倒れてこないように固定します。

<トップ>



メモリー拡張キット ME2000 の取り付け

1. CPU ボードに接続されているワイヤーケーブルを取り外します。
ワイヤーケーブルは、4つの白いコネクターと2つの黒いコネクターに接続されています。白いコネクターの場合は、ラッチを図のように上げたあと、ワイヤーケーブルを取り外してください。黒いコネクターの場合は、コネクターの上の部分を持って引き抜いてください。



2. CPU ボードの5本のネジを外したあと、CPU ボードを取り外します。
3. メモリー拡張キット ME2000 を取り付けます。

NOTE ネジが5本同梱されていますので、CPU ボードに取り付けてあったネジを使用すると、ネジは余りません。

4. 取り外したワイヤーケーブルを元どおりに接続します。
白いコネクターの場合は、コネクターのラッチを下げたあと、ワイヤーケーブルの赤い線を基板上の▼に合わせて挿入してください。黒いコネクターの場合は、ワイヤーケーブルの青い線を基板上の▼に合わせて接続してください。
5. 付属のリチウム電池を取り付けます。(DM2000 のデータをバックアップするために必要です。)

コントロールパネルの取り付け

1. フロント→サイド→リアの順番で取り付けます。また、各パネルを取り付ける際には、位置決めネジ（38 ページ参照）を最初に締めます。



コントロールパネルを取り付ける前に、DM2000本体の中にネジやドライバーなどが残っていないか確認してください。故障の原因になります。

2. ピークメーターブリッジ MB2000、サイドパッド SP2000 を、取り外しと逆の手順で取り付けます。

● バックアップデータのロード

MIDI バルクダンプを使って、セーブした DM2000 のデータをロードします。

1. DM2000 の電源を入れると、起動画面に「MEMORY EXPANDED」が表示されます。
2. DISPLAY ACCESS[MIDI] キーで BULK DUMP ページを表示します。
3. CATEGORY パラメーターの [ALL] を選択したあと、[REQUEST] ボタンを選択してから [ENTER] キーを押します。

NOTE

7MBを超えるオートミックスのデータをロードする場合 (ME2000を取り付けていないDM2000は、1MB)、オートミックスのデータはロードできません。この場合、DM2000 本体のディスプレイにメッセージが表示されますが、DM2000 に保存されているデータには影響ありません。

● 付属品

リチウム電池	1 個
ネジ	5 本
保証書	1 枚
ME2000 取扱説明書	1 冊
CD-ROM (Studio Manager)	1 枚